



ある武士ドルの

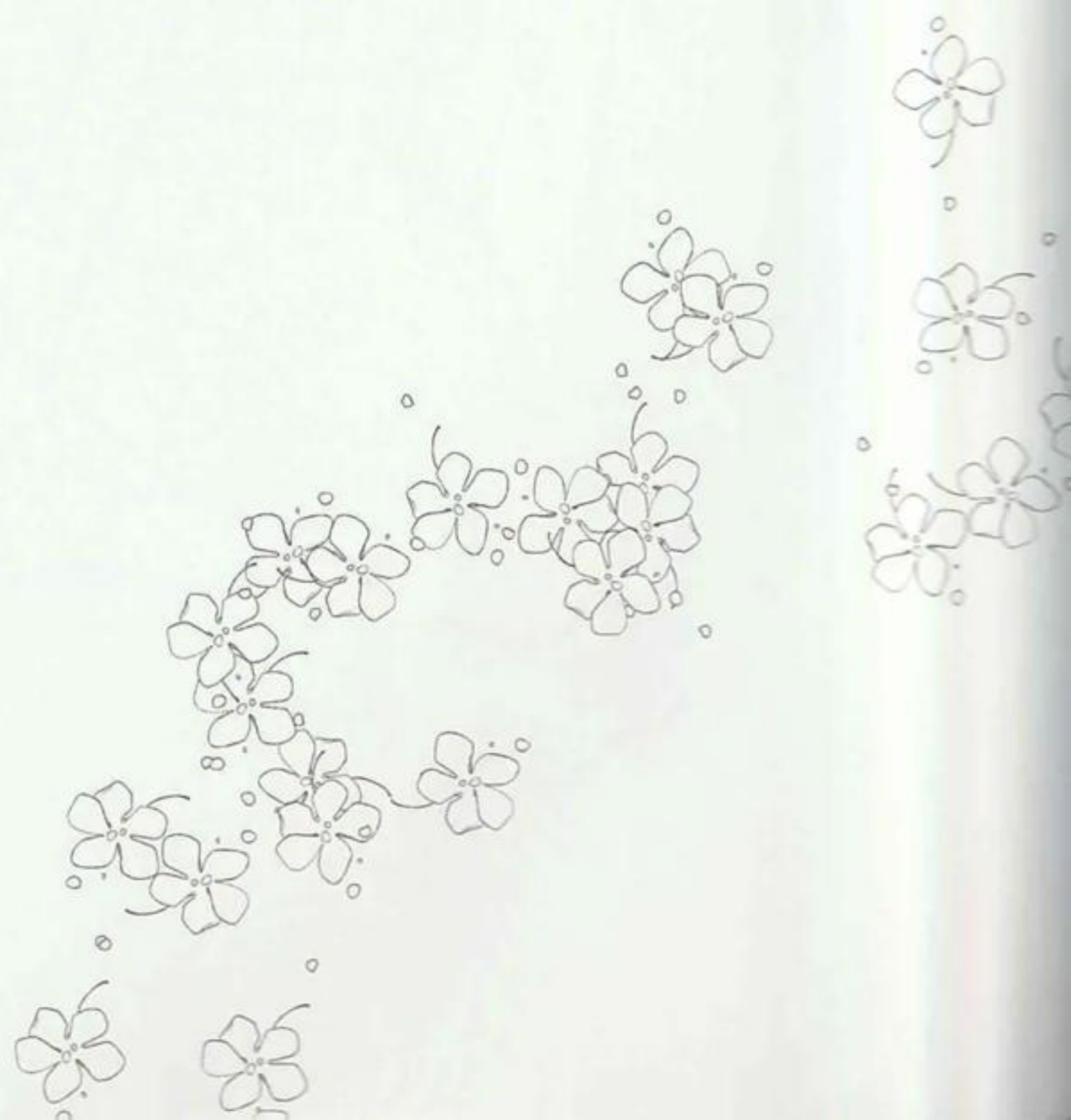
情事一夜

乙狩アドニス＊神崎颯馬

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止







失礼する

軽音部部長の
朔間零殿はおるか

は？
今はねーぞ

なんの用だ？



副会長代理として
参った

軽音部に渡す
書類があるのだが…

俺様が渡してやっから
そこら辺に置いておけよ



うむ、できれば
直接渡したい
ところではあるが
我も忙しくて
どうも手が離せぬ

宜しく
お願い申す



おい、お前ら
喧嘩でもしたのか？

どういう意味だ

だってお前ら
あーんな関係だろ？

でも今は全然視線も
合わせてねーだろ

喧嘩してない



当分顔を
合わせたくないから
声を掛けられないように
とは言われたが

想像以上の
ピンチ

でも俺のせいでは
ないと神崎は
言っていた

どうやら
『賢者タイム』
だそうだ

そういえば大神
賢者タイムって
何なんだ？

はあ？



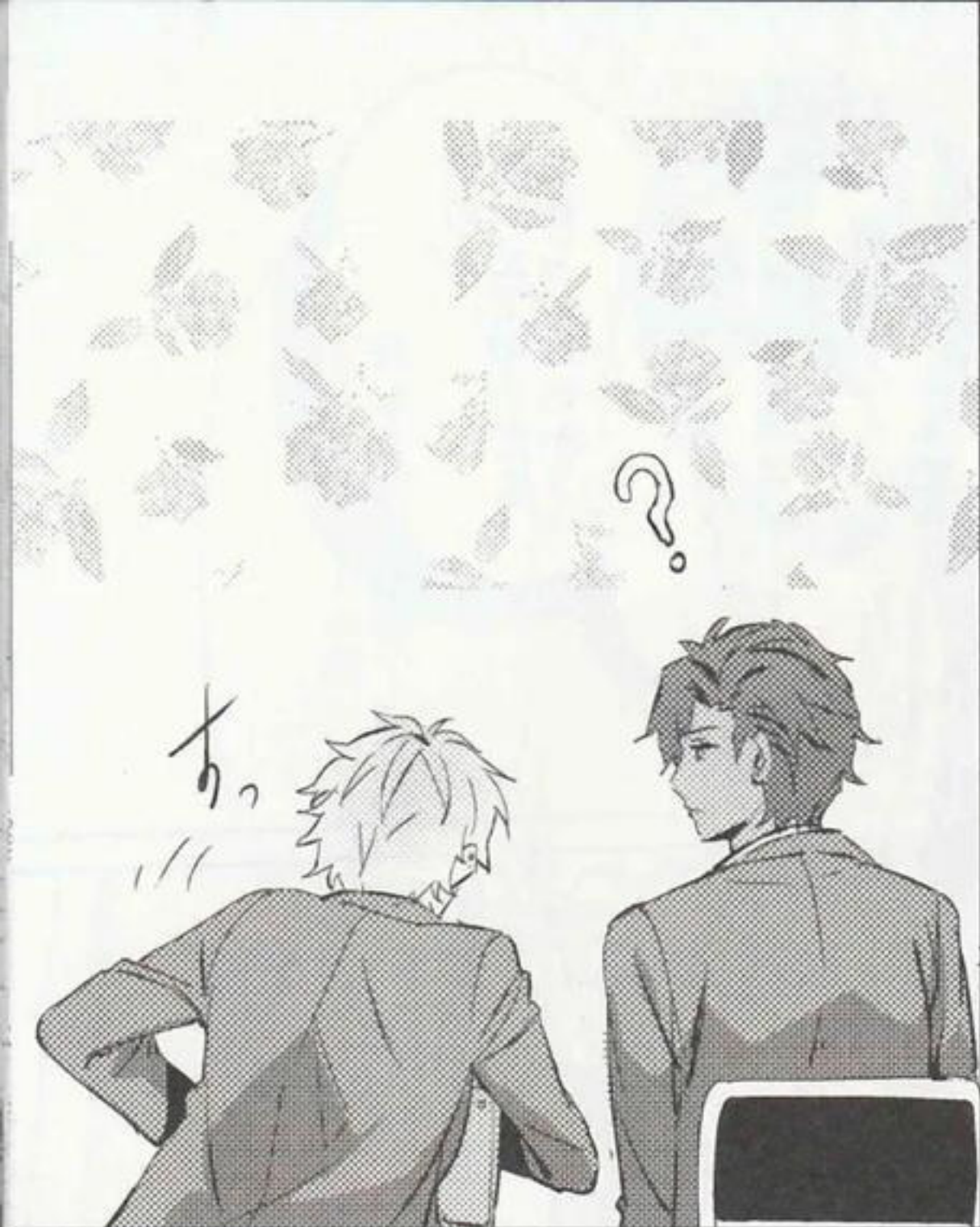
あ、あれ
あれだろ

こっれした後
急に頭の中が
冷静になってくる
ってやつ

……
分かるような
気もするが……

そういう問題なら
やはり一昨日の
あれが原因だろうか……

なに？
やっぱ喧嘩？



違う

…は？

ちよっとそれって
意味深じゃねー？

母と姉たちが
家を空けたから
神崎が泊まって
いっただけだ。

…やっちゃった？

…俺が言ったって
神崎には言うな

うわあ
すっげー！

否定はしねんだな！
マジやっちゃったのか？！

それに今のは
俺の失言だった
忘れてほしい

大神、先から
ジュスチャーに
品がない

あのさ
男同士でやっても
気持ちいいのか？

いや……
別に意味はなくて
本当にただの
疑問なんだからな？

大神、これは
俺のプライバシー
なんだが神崎の
プライバシーでもある

わ、わかったよ……
そんなに怖い顔
すんなって

しかしそれじゃ
本当にあれが
原因かもな

あんまり気持ち
よくなかったとか？

思ったより
普通でその気が
なくなったりしてさ

……

あ、いや、別に
お前の能力を
馬鹿にしてる
訳じゃないけどよ

賢者タイムって
そう聞こえるだろ

よく考えて
みろよ

それとも
あの夜に
ヒントが
あるかもな

実は少し不安だったか
どう考えても
わけがわからない

……



本日はあとにす殿の
御宅でお世話になり
光栄である

我はまだ未熟者であるが
どうか宜しくお願い申す



あ

おろ

おろ

よ、よろしく…



来る途中
『こむ』を
買ってみた

しかしどれが良いのか
我には分からなくて…
様々な物を
用意してみたのである

あとにす殿の好みで
選ぶがよいだろう。

それとも
以前使った物があるなら
そっちを使っても構わぬ

よくわからんが…
普通で良いんじや
ないか



そ、そうであつたか



『普通』とは
どれが
『普通』だろうか

厚さや
大きさが少しずつ
違うようであるが

追記説明が少ない物が
普通ではないかと
予測する



…もしや
あとにす殿もよく
ご存知ではないのか

ああ、俺も
初めてだからな…



なんか
嬉しそうだな…

失礼した

しかしあとにす殿の
初めての相手に
なれると思うと
嬉しくて…

い、否、忘れて
欲しいのである

これが
一番地味だから
『普通』では
ないかと！

そのようだな

では、これを
どうしたら…

何処かに
説明書があるはず

本当に
やるのか
神崎と…

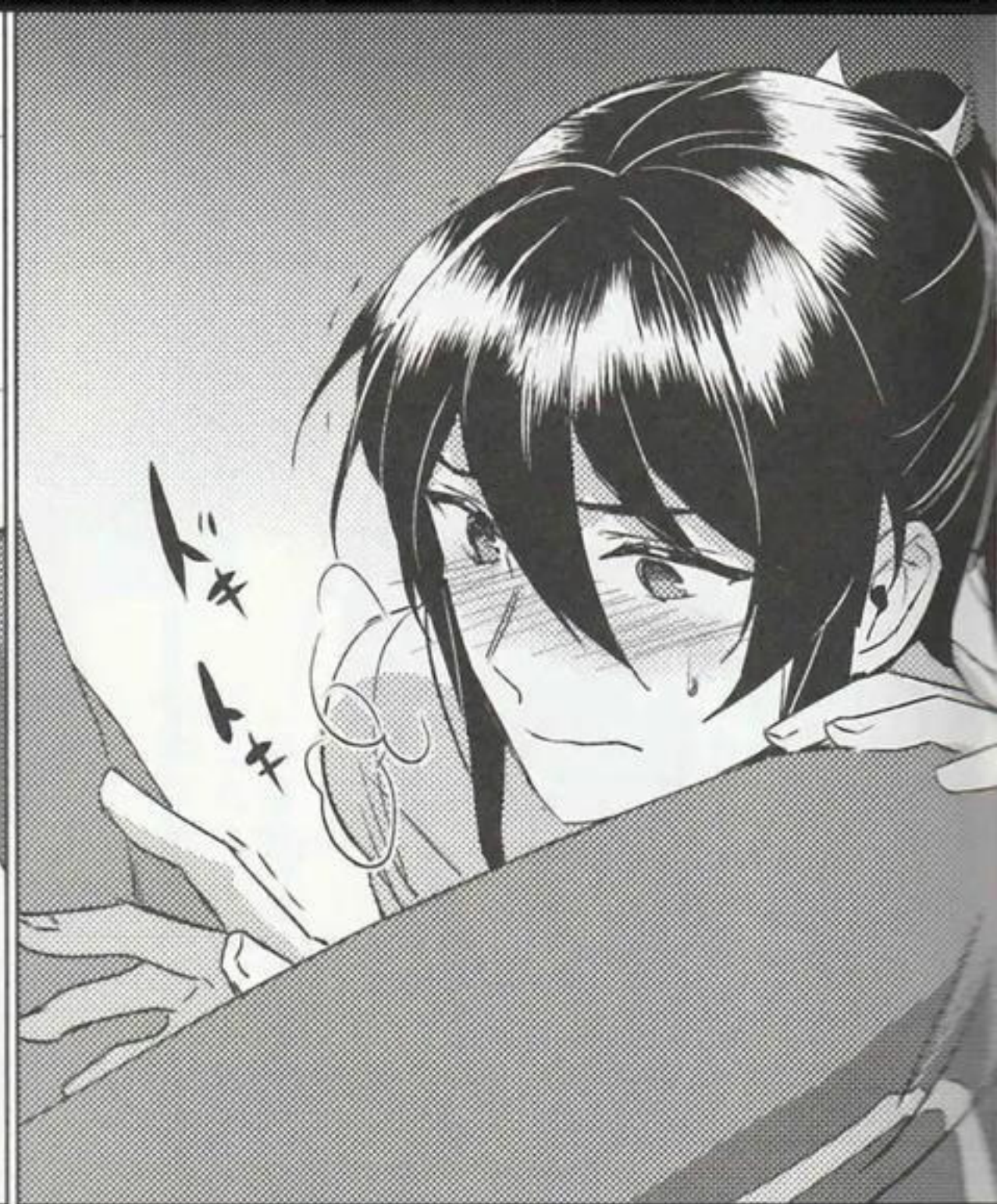
それにしても
神崎の方から
誘うとはな

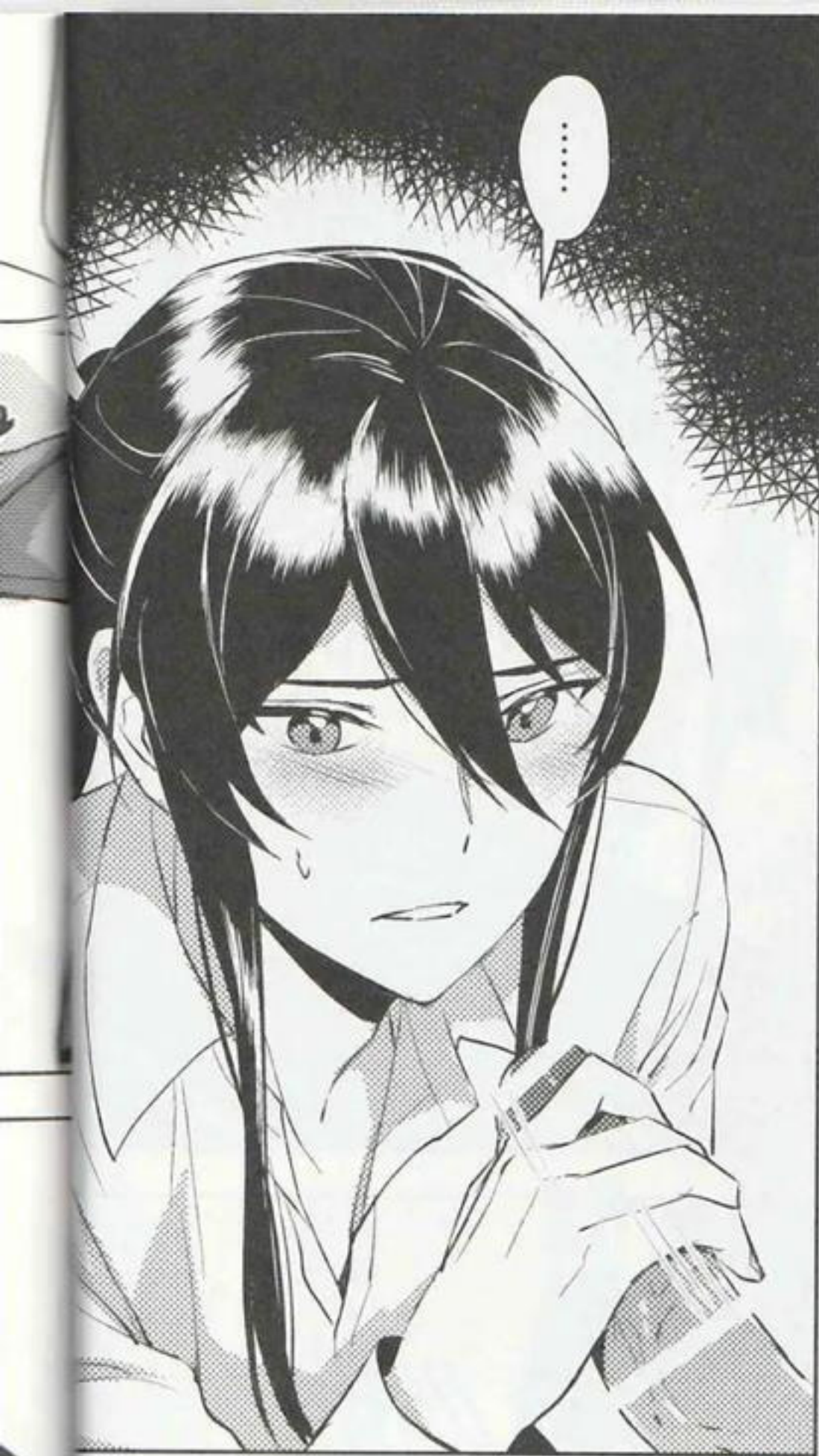
あんなに綺麗で
凛々しい神崎が…

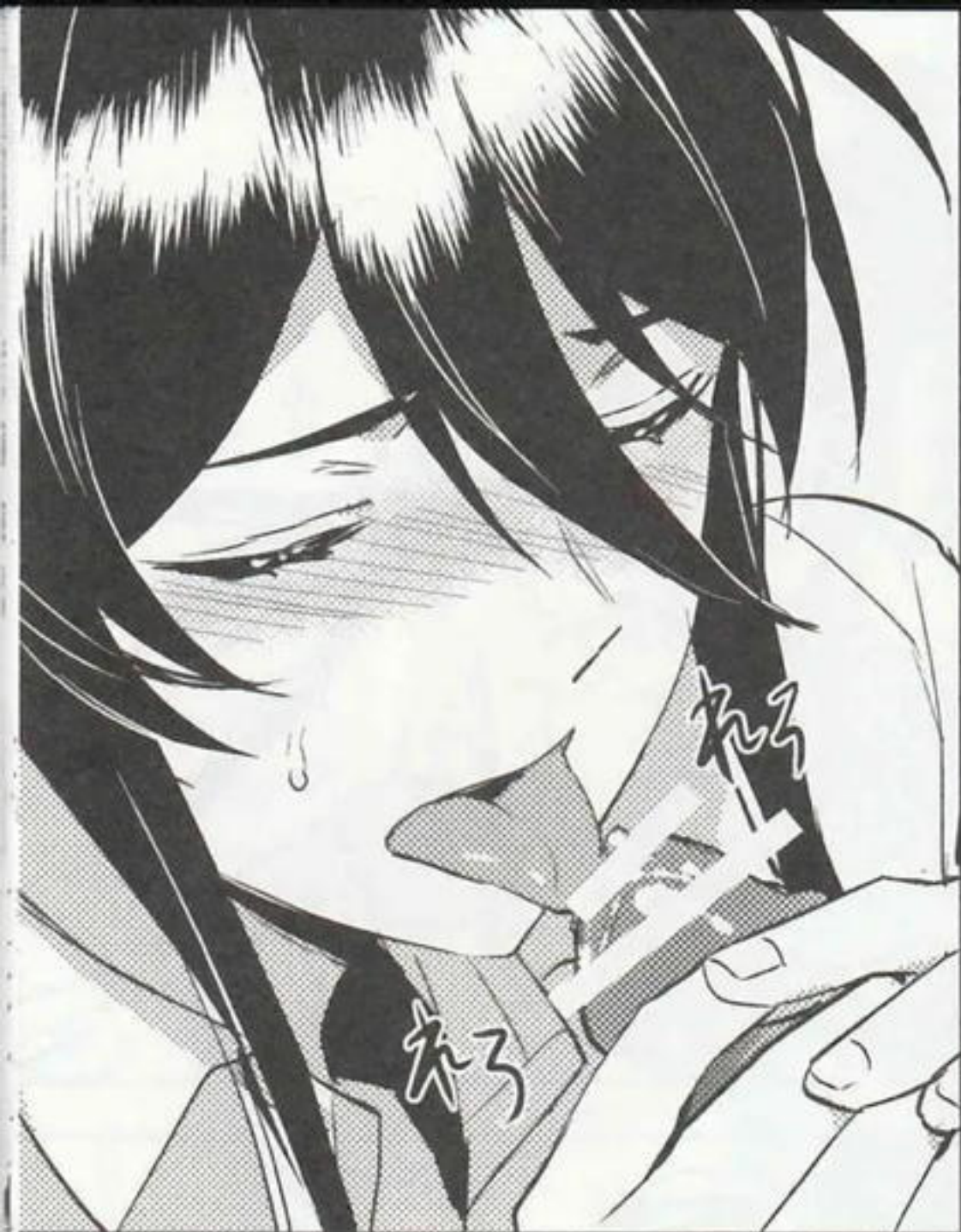
神崎のそんな
姿は…今でもよく
想像できないんだが

これは、いきなり
夢から覚めたって
おかしくなくらいだ









初めてだから
仕方ないと思うが

何より、下手すぎる



やはり無理だ

この姿勢では
ぎこちなくて
集中できない



ちよつと
待って、神崎…

神崎が無理して
頑張っているのに
俺はどうすれば
いいんだ



あ、ああ

あいすまぬ!!

悪い癖が
出てしまった!

いや、これは
武者震いだ

問題ない

びる

びる

何でも一生懸命な
お前らしいが……
無理はしなくていい

しかしあとにす殿
全然感じてなかった

それにその刀は
どこから出した

ちよつと
緊張しすぎ
ではないか

切腹をもって
お詫びする!

これら全ては
我が甘かったせい!

やめろ

初めてなのは
俺も同じだし
俺が緊張してしまった
せいもある

あとにす殿が
私の為
に時間を作
ってくれたの

恋人つという
者がまともに
奉仕もできぬとは!

それに、そんなに
慌てなくても
いいんじゃないか

今日じゃなくても
また機会はある

しかし
今日ではないと
いつまた機会が
来るか…

それに
お前がそんなに
無理しなくても

ありのままの
お前だけで

充分…
勃つと
思うんだ

あとにす殿…

これは一人じゃ
できない事だ

お前一人で全部
背負おうとするな

ずっと一緒なら
必ずいつか来る

初めてなのは
一緒だから
お互い頑張ろう

やはり
あとにす殿は
優しいすぎる

そうか
あとにす殿の
申す通り
一人ではできぬ
事であった!

共に頑張ろう
我らの子孫の
ために!

…ん?

あ、そうであった

今日は『こむ』を使うから
できるわけないであるな

※ほっておくと
テンションがどんどん
おかしくなってるゆく
アド嶋ちゃん

…ふむ

でも俺も：
よくやれるのか
：心配だな

いつまでそんなに
見つめるだけであるか？

照れるので
あるが：

あ、すまない

学校の更衣室で
見た時とは
全く違う感じで
あるな：

わ、悪い

力が入り
すぎたか

そうではないが
そ、そこは…
ちよつと…

ちよつと？

それは…武道を
やっている者だから
当たり前である

神崎、もしかして
すごく敏感では
ないのか

いい加減
からかうのは
やめて欲しい！

はん

そんな意味じゃなくて
すごく、性的に
感じやすいようだな

そ、それは
よくわからぬ

誰かに触られた事も
あんまりなかったゆえ…

いや
からかった
わけじゃない

我慢すれば
良いのだな

が、頑張っ
てみよう

そうが…

神崎、少し
くすぐりたいかも
我慢してくれないか



出ちやうう…っ

だ、だが
しかしっ—

ん、おかしな
声が

声まで
我慢しなくても
いいんだ



大丈夫か

う…うん…
なんか—

悪寒が
するような

おかしな
震えが、きてえ…っ

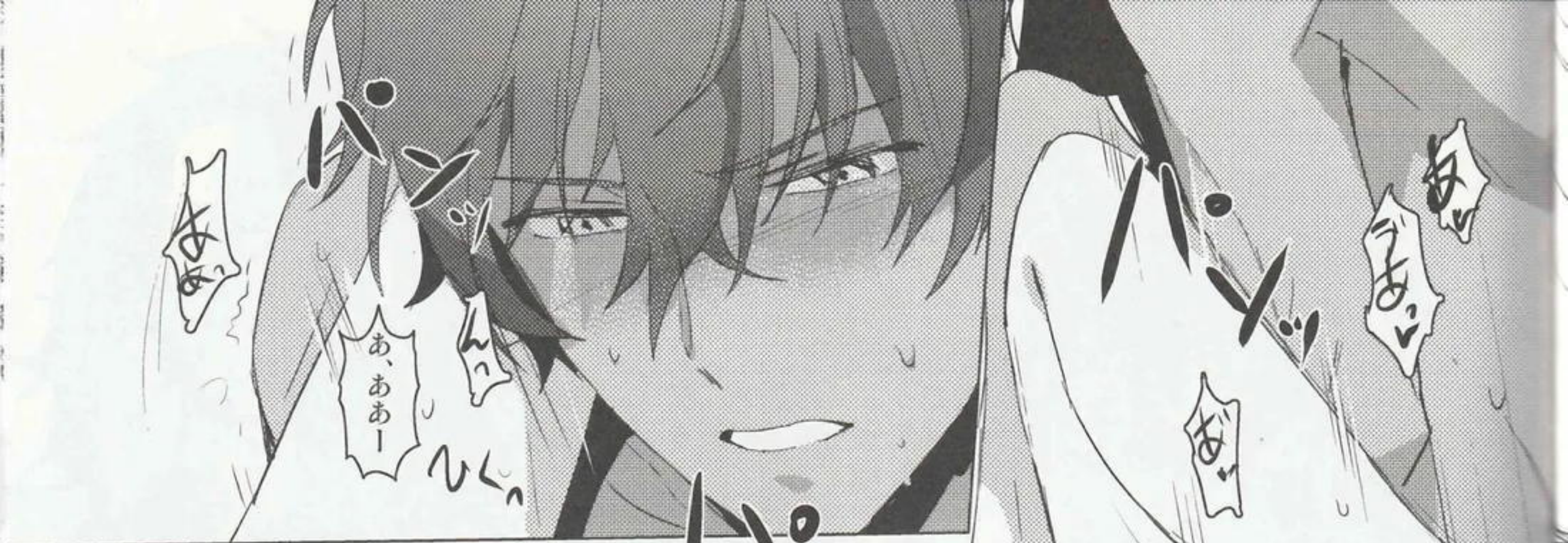
き、気持ち
いい…っ！

あ、ん

俺はお前の声が
聞きたいんだ

んふうっ…







神崎……

あ、あとにすどの……

か、神崎……

びっ
びっ



あとにす殿お
わ、われも……

はま

すき……

うっ

大好き……

びっ
びっ



あとにすどの……

愛してる

神崎！

われ

か

からだか……

びっ
びっ



神崎

わ、われ

もお……

どおしよう

あ

いっ

びっ
びっ



神崎……!!

神崎
大丈夫か?



い、やああ
はなれないでえ……

神崎?

も、もっとお……
もっとしてえ

われあ、まら
もっとやれりゅ……

きもちいいの

あとにしゅ
どののからだ……

もっと
じょ……だい……

がぁー

か、神崎！

うむ、この
後の事は
記憶にないな

気がついた頃には
日が昇ってた

あの大量のゴムも
いつの間にか
結構減ってたしな…

やっぱり
特に問題は
なさそうだ…

いきなり
一人の世界に
入るんじゃないー！！

ビビっちゃった
じゃねーか！！

でも目も
合わせたくないって
言われるくらいなら
すっげー問題だろ

そう言われたら
普通、緊張すんだよ

ま、俺様とは
関係ないか

頑張れよ

まさか
そんなわけない…
だろ…

もうちよつと
危機感もった方が
良いと思うけど？



あとにす殿



そうか、俺のせいで
傷ついたんじゃないかと
心配したぞ

そんな…
滅相もない

むしろ、とても…
気持ち良かったし



…神崎!

この度は
待たせて
すまなかった

おかげで
落ち着けたのである



恥と言う
事はない

可愛いかったし

か、可愛いとは
失礼な!



ただ武士であろう者が
束の間とはいえ
我を忘れて…

あ、あんな
はしたない姿を…
見せてしまって…

あんな恥をかいたのに
あとにす殿に合わせる
顔がとてなかつたのである





それにしても
男同士では
作り出来ぬとは

我はもう名前も
考えておいたので
あるが…

実は
男同士でも
やれるなら
もしかして
子供も
作れるのでは?!

みたいな…

とんでもない
話だが

そこまで
真剣に考えて
くれたのは
とても嬉しい



あ、ならそれは
一緒に飼う
犬の名に
しようか!

どんな名前
だったんだろう…?



後描き

この本の話をする前に、まずは私から謝らなければならない事があります。
この前…っていうか結構時間がたっているのですが、「あとにす殿に嫌われる～」本の通販がですね。
私の本ってなかなか高いほうだっていうのは自分でも自覚していますが、それよりも高くなってましたね。

なんていうか、登録するときに、久しぶりだったので卸値の計算のところでいきなり迷ってしまって、
それで、とりあえず1000円って書いておいて後で修正するつもりだったんですが、そのまま売ってしまったわけです。
気が付いた時はもう買ってくださった方がおおかったので…それから値段を修正してしまったら
先に買ってくださった方々に迷惑をかける事になると思いました…

原稿してたあの時、色々忙しくて大変だった頃だったので、絵の状態もよくないし、ミスも多かったのです。
そんな本をとんでもない値段に売ってしまって、正直、思い出す度に死にたくなります。
人生の黒歴史になりそうです。本当に申し訳ありませんでした。

それでは、この本についての話に戻して、
この前の本の失敗もあったので、今度はできるだけ気を使って描きました。

もとは普通に、可愛くて初々しいアド颯エロを描くだけが目的だったのですが、
描いてるうちになんかギャグっぽいところも巻き込まれてきましたよね。
わたしって、もとは悲しいか暗い話専門(笑)なんですけど、
こんなに明るい感じの本ができるとは、自分でも驚けるくらいです。

初々しいけどエロい、可愛いけどエロい、さらに二人ともバカで間抜けているのにエロい…
まさに、他のキャラでもなく、あの『アド颯ちゃん』だからやれる
不思議な雰囲気の本ができたと思います。

描いてる自分もすごく楽しめた気分でした。
次には普通にすごくエロい(笑)アド颯を描きたいです！

ハリネズミまんま

発行日: 2017.2.12.

責任者: まきあっと

E-mail: akirunyang@gmail.com

Pixiv: 1625628

Print: 株式会社栄光様

Special Thanks : ズナちゃん(トーンアシスト)

2017 ハリネズミまんま